



飛躍への挑戦！
高知県産業振興計画

**第3期物部川地域アクションプランの進捗状況等について
平成30年度地域アクションプランの追加・修正項目（案）**

物 部 川 地 域 本 部

平成30年9月6日（木）

物部川地域アクションプランの進捗状況等

H 3 0 . 9 . 6
物 部 川 地 域 本 部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

物部川地域では、26 のアクションプランが推進され、各種アドバイザーの導入のほか、助成制度の活用や研修会等への参加等により、経営力の向上や生産体制の強化、販路拡大に向けた取組が進められるなど、概ね順調に推移している。

農業分野では、日本一の生産量を誇るニラやシシトウ、ユズといった地域を代表する施設園芸の産地の維持やブランド化を目指し、省力化に向けた機器の導入や労働力の確保、新規就農者の育成など生産基盤の充実・拡大に向けた多様な取組を引き続き推進している。

農産物を活用した新たな6次化の取組として、ブドウの栽培からワインの生産・販売までを県内で行う県内産ワインとしてのブランドづくりや、香美市への移住者によるクラフトビールづくりなど、加工品の開発や販路の拡大に向けた新たな動きが出てきている。

林業分野では、各森林組合や林業事業体が主体となり、森の工場の拡大に向けた施業地の集約と原木の増産に向けて、間伐の推進や作業道の開設をはじめ、林業大学校と連携した担い手の確保や、高性能林業機械の導入等による生産性の向上に取り組んでいる。

水産業分野では、香南市でシイラを活用した加工品づくりが進められており、売り上げアップを目指した衛生管理の向上や生産体制の強化とともに、県外の取引先との定期的な情報交換等を通じた、取引量の安定確保や販路拡大などに取り組むことにより、順調に販売額が増加している。

商工業分野では、南国市が（株）海洋堂と連携して中心市街地の活性化に取り組んでおり、その中核となる「ものづくりサポートセンター（仮称）」の整備に向けて、着実に各種計画を実行するとともに、センターや海洋堂の取組を広く市民に理解してもらうために、海洋堂が手がける事業を紹介・体験できるイベント「ナンフェス」の開催に向けた取組を進めている。

香美市では、伝統的工芸品である土佐打刃物の後継者育成を目指した「鍛冶屋の学校（仮称）」の平成31年度開校に向け、実習施設の建設計画や講師の選定、カリキュラムの検討等、具体的な計画づくりが着実に進展している。

観光分野では「物部川DMO協議会」を中心に、ウェブサイトや観光パンフレットを活用した情報発信や、観光客を呼び込むためのマーケティング調査など、観光施設や事業者等と連携した広域観光の仕組みづくりが進んでいる。

また、ポスト「幕末維新博」に向けた観光拠点づくりの取組が、それぞれの地域で進められている。龍河洞では、龍河洞保存会、商店街、地域住民、行政が一体となり平成30年度に「龍河洞エリア活性化協議会」を立ち上げ、平成29年度に策定した「龍河洞エリア活性化基本計画」に沿って、観光コンテンツづくりや商店街の整備のみならず、龍河洞地域全体の活性化に向けた本格的な取組が始まっている。ヤ・シィパークでも、平成30年度に「ヤ・シィパーク活性化協議会」を立ち上げ、ヤ・シィパークを核とした地域のにぎわいの拠点づくりを進めており、公園や商業施設の機能強化、海浜を活用した新たな体験型観光コンテンツづくりに着手している。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>No.1 ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」(香南市、香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA 土佐香美 <p>※地域産業クラスター関連(日本一のニラ産地拡大プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <p>(JA 土佐香美)</p> <p>○ニラ販売額</p> <p>H27 園芸年度実績：27.1 億円</p> <p>→H29 園芸年度目標：28.4 億円(実績：26.9 億円)</p> <p>→H30 園芸年度目標：27.0 億円</p> <p>→H31 園芸年度目標：29.7 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○ニラ販売額(H29.8月～H30.6月)25.5 億円 (前年同期比 99.3%)</p> <p>○産地パワーアップ事業計画に関する関係機関の協議と農業者への周知 (香美市 PT 会：1 回、香南市 PT 会：2 回、説明会：2 回)</p> <p>○労働力確保対策について協議 (香美・香南労働力確保対策 PT 会：5/15)</p> <p>○営農意向調査の検討と実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの実施 <p>○クラスタープランの協議(クラスタープラン PT 会：5/15)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスタープランの見直し <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○生産者の高齢化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の受入体制の強化 <p>○作業労働者の確保と労働力の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国事業を活用した調整作業機械の更なる導入
<p>■No.2 南国市の園芸基幹品目シシトウの振興(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA 南国市 ・JA 長岡 ・JA 十市 	<p>[目標]</p> <p>○JA シシトウ出荷量</p> <p>H27 園芸年度実績：679 t</p> <p>→H29 園芸年度目標：720 t(実績：708 t)</p> <p>→H30 園芸年度目標：740 t</p> <p>→H31 園芸年度目標：760 t</p> <p>[取組状況]</p> <p>○産地ビジョンの推進、本年度の取組事項について協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3JA 合同会議、シシトウ4部会、南国市営農改善会 <p>○モデル農家に対する重点指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導(週1回)、進捗管理指導(月1回)の実施、個別面談 <p>○現地検討会・勉強会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3JA 合同：2回、JA 十市：1回、JA 南国市中央：1回、JA 長岡：1回

	<ul style="list-style-type: none"> ・南国市施設園芸環境制御研究会：1回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産地ビジョンの推進 ○収量向上・低コスト化の推進 ○担い手の育成 ○出荷量の増加及び販売額の維持 <ul style="list-style-type: none"> ・高収量安定生産技術の普及、労働力の確保、省力化対策
<p>■No.3 還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA 南国市出資農業生産法人（株）南国スタイル ・（株） トリムエレクトリックマシナリー ・高知大学 <p>※地域産業クラスター関連（南国市還元野菜プロジェクト）</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○協力農家の戸数（H28～31 累計） <ul style="list-style-type: none"> H27 実績：3 戸 →H29 目標：1 戸（実績：0 戸） →H30 目標：1 戸 →H31 目標：7 戸 ○還元野菜の売上 <ul style="list-style-type: none"> H27 実績：1,200 千円 →H29 目標：3,000 千円（実績：2,245 千円） →H30 目標：3,000 千円 →H31 目標：10,000 千円 ○機能性に基づく差別化ができた品目数（H28～31 累計） <ul style="list-style-type: none"> H27 実績：0 品目 →H29 目標：0 品目（実績：0 品目） →H30 目標：0 品目 →H31 目標：3 品目 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○かざぐるま市・風の市における還元野菜の売上（7/25 現在）：1,248 千円 ○雇用労働者数：管理者 1 人、作業員 6 人 ○JA 南国市や南国スタイルを含めた複合経営拠点としての機能を強化する取組の推進（4 月～） <ul style="list-style-type: none"> ・6 月補正による関連予算の計上（南国市） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・人的体制とノウハウの構築 ・協力農家の増加に向けた協議・検討 ○還元野菜の販売先の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・還元野菜セット販売の拡大 ・地元レストランへの供給

<p>■No.4 生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策（香美市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市 ・JA 土佐香美 	<p>[目標]</p> <p>○ユズ販売額</p> <p>H27 園芸年度実績：5.2 億円</p> <p>→H29 園芸年度目標：5.0 億円（実績 5.5 億円）</p> <p>→H30 園芸年度目標：5.0 億円</p> <p>→H31 園芸年度目標：5.2 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○ユズ販売額</p> <p>H30 園芸年度実績：4.4 億円（前年比 80%）</p> <p>○担い手確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地研修受入先（指導農業士）増員への支援（1 名、4 回） ・ユズ担い手支援活動の発信（1 回） ・新規就農希望者面談（1 名、1 回） ・新規就農者支援（1 名、3 回） ・担い手の経営発展に向けた支援（4 名、6 回） ・担い手に集積可能な園地の紹介活動（3 ヶ所） <p>○収量増の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有望系統普及に向けた取組支援（苗木 40 本作成） <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会（4 回）、三役会（4 回）の開催 ・地理的表示保護制度申請協議（2 回） <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○担い手の確保、育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手に集積可能な園地不足⇒農地の出し手への担い手紹介、農地中間管理事業等の周知活動 <p>○省力化、生産安定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省力化向き優良系統（短棘等）・生産安定技術の普及 <p>○ブランド力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的表示保護制度活用により訴求力向上
<p>■No.5 「なの市」「なのカフェ」の売上拡大による農家所得の向上（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA 長岡 ・(株) なの工房 	<p>[目標]</p> <p>○直販所等の売上高</p> <p>H26 実績：171,000 千円</p> <p>→H29 目標：165,000 千円（実績：134,313 千円）</p> <p>→H30 目標：117,000 千円</p> <p>→H31 目標：171,000 千円</p> <p>○直販所等の雇用者数</p> <p>H26 実績：32 人</p> <p>→H29 目標：32 人（実績 11 人）</p> <p>→H30 目標：11 人</p> <p>→H31 目標：32 人</p>

	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○直販所の売上高（6月末）：30,687千円 ○経営力向上会議の開催（4/17、5/17、6/26、7/30） <ul style="list-style-type: none"> ・経営計画の進捗管理及び経営状況の把握 ○産振アドバイザーによる現場指導の実施（4/17、5/14） ○産振アドバイザーによる売り上げデータ等の予実管理指導（5/8） ○株主総会の開催（5/31） ○「はたけの食堂C o p a n」オープン（7/2） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新体制に即した安定的な経営手法の習得 <ul style="list-style-type: none"> ・予実管理の実施（日次管理表作成） ・経営力向上会議（なの工房、JA長岡、県、市、専門家等）による定期的な経営状況の確認
<p>■No.7 地元野菜の消費拡大による地域農業の活性化（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA南国市出資農業生産法人（株）南国スタイル ・農家レストランまほろば畑 ・南国市 ・道の駅南国風良里 <p>※地域産業クラスター関連（南国市還元野菜プロジェクト）</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校給食における地元野菜の供給金額 <ul style="list-style-type: none"> H26実績：5,373千円 →H29目標：6,455千円（実績：9,428千円） →H30目標：6,455千円 →H31目標：6,455千円 ○学校給食における地元野菜の供給割合 <ul style="list-style-type: none"> H26実績：20.81% →H29目標：25%（実績：29.5%） →H30目標：25% →H31目標：25% ○業務筋への供給 <ul style="list-style-type: none"> H26実績：20事業体 →H29目標：29事業体（実績：32事業体） →H30目標：29事業体 →H31目標：25事業体 <p>[取組状況]</p> <p>（（株）南国スタイル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校給食への地元野菜の供給金額（7月末）：2,782千円（対前年同月比：76.55%） ○学校給食への地元野菜の供給割合（7月末）：28.59%（対前年同月比：78.32%） ○業務筋への供給（7月末）：36事業体（対前年同月比：105.88%） （農家レストランまほろば畑） ○農家レストラン開店日：14日（9/30見込） <ul style="list-style-type: none"> ・来店者数：1,957人（7月末現在：1日平均178人）

	<p>○高校生（高知農業高校）レストラン開店日：1日（8/7）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来店者数：195人 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○農家レストラン運営メンバーの高齢化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働時間削減に向けた組織体制と営業方法の見直し
<p>■No.8 農園レストランによる地域食材の消費拡大（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（株）ナイフアンドフォークカンパニー 	<p>[目標]</p> <p>○売上高</p> <p>H26実績：0円</p> <p>→H29目標：183,500千円（実績：169,171千円）</p> <p>→H30目標：192,500千円</p> <p>→H31目標：200,500千円</p> <p>○食材の地産地消率：</p> <p>H27実績：83%</p> <p>→H29目標：83%（実績：85.5%）</p> <p>→H30目標：83%</p> <p>→H31目標：83%</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高（H29.9月期）：169,171千円（前年比76.6%） （H29.10～H30.6月末）：122,793千円（前年同期比98.6%）</p> <p>○食材の地産地消率（H29.10～H30.6月末）：85.4%</p> <p>○トリトンライス開始、パプリカ使用（3月～）</p> <p>○リョーマの休日像のCM（ネット、テレビ）による全国放映（4月）</p> <p>○誘客を図るため庭園に遊具（すべり台3台）設置（5月）</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○売上の回復に向けた取組の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なイベントや商品企画などの実施 ・マスコミや広報誌等を活用したPR活動の継続
<p>■No.9 加工品販売による夜須地域の活性化（香南市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協同組合やすらぎ市 	<p>[目標]</p> <p>○加工品販売額</p> <p>H26実績：0.96億円</p> <p>→H29目標：0.96億円（実績0.97億円）</p> <p>→H30目標：0.98億円</p> <p>→H31目標：1億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○生産販売計画及び実績の検討、ならびに既存商品の改良や新商品開発等に向けた検討（3回：9/20予定含む）</p> <p>○既存商品の改良及び新商品の開発、販売（5品：赤生姜シロップ（黒糖）、とびだしいちご大福、やすのトマトカレーパン（改）、お米スティック、お米スティック（黒ゴマ））</p> <p>○SNS等を活用した顧客への情報発信（30回：8/19現在）</p>

	<p>○直販所個別セミナーによる、現状共有と商品改善、店内レイアウト変更等に向けた検討(2回:8~9月の2回目含む)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○加工技術と商品開発力の向上による商品の充実と生産の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザーの活用等によるノウハウと技術の習得 ・主力商品の商品別生産数量をもとにした製造販売計画の作成及び実績の検証・改善
<p>■No. 10 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組 (南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業組合ごめんシャモ研究会 ・南国市商工会 ・南国市 	<p>[目標]</p> <p>○売上高</p> <p style="padding-left: 20px;">H26実績：21,553千円</p> <p style="padding-left: 20px;">→H29目標：50,000千円（実績：60,080千円）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30目標：64,000千円</p> <p style="padding-left: 20px;">→H31目標：65,000千円</p> <p>○ごめんケンカシャモ提供店舗数（市内）19店舗(累計)</p> <p style="padding-left: 20px;">H26 実績：19 店舗</p> <p style="padding-left: 20px;">→H29目標：20店舗（実績：19店舗（累計））</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30目標：20店舗</p> <p style="padding-left: 20px;">→H31目標：20店舗</p> <p>○シャモ飼育羽数</p> <p style="padding-left: 20px;">H26 実績：1,859 羽</p> <p style="padding-left: 20px;">→H29 目標：3,000 羽（実績：3,437 羽）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30 目標：3,000 羽</p> <p style="padding-left: 20px;">→H31 目標：3,000 羽</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高(4~5月) 8,693千円（前年比94%）</p> <p>○ごめんケンカシャモ提供店舗数（市内・4~6月）：19店舗（対前年同月比：100%）</p> <p>○シャモ目標飼育羽数(4~6月)794羽（前年同期比136%）</p> <p>○食1グランプリへの出店（3/31、4/1）</p> <p>○地産地消ごめん軽トラ市への出店（5/27）</p> <p>○道の駅19周年祭への出店(7/15)</p> <p>○シャモ鍋社中における新メニュー「十菜シャモあんバリかた麺」の開発（十市小学校と連携）</p> <p>○定例会（4/26、6/21、7/19）の開催</p> <p>○総会の開催及び新メニュー開発で連携した十市小学校との交流（5/30）</p> <p>○HACCPの認証に向けた取組(6/12 現地アドバイザーによる指導)</p>

	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シャモ肉の安定的な供給 <ul style="list-style-type: none"> ・飼育マニュアルに基づく生産管理の徹底 ・飼育技術の向上による高品質化、均等化 ○自社商品の販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・商談会への参加等、外商の推進
<p>■No. 11 ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川添ヤギ牧場 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高（1～12月） <ul style="list-style-type: none"> H26実績：1,800千円 →H29目標：9,010千円（実績：5,340千円） →H30目標：15,980千円 →H31目標：30,200千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上（1～6月）2,852千円（前年比124%） ○飼育ヤギ頭数（7月末）：175頭（前年同期比146%） ○H30.4月から正社員1名を新規雇用（正社員2人、パート雇用3人） ○各種メディアへの取材対応（TV、タウン誌等 随時） ○搾乳量増加に向けた飼料の改善（濃厚飼料による飼育） ○自給飼料の栽培（約15ha） ○香北ふるさとみらいと連携した新たな加工品の開発 ○ヤギ肉の販路開拓及びPR（アグリフードEXPOへ参加予定） ○産振アドバイザーの導入（9月上旬予定） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ヤギミルクの安定的な供給 <ul style="list-style-type: none"> ・飼育技術の向上によるヤギミルクの生産拡大 ○ヤギミルクの販路の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ヤギミルクの製造・販売事業者と連携した商品PRや営業活動の強化（バイヤー視察対応等）
<p>■No. 12 民有林における原木の増産（物部川地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各森林組合 ・林業事業体等 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> 原木生産量（民有林のみ）：H26実績：35,887 m³ →H29目標：47,000 m³（実績：41,699 m³） →H30目標：48,000 m³ →H31目標：50,000 m³ <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○原木生産量（9月末見込）：20,000 m³（前年同期比88%） ○市町村、森林組合、事業体への林業振興関連事業の説明会の開催（1回 4/28） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○原木の安定供給 <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な事業地の確保

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業学校と連携した担い手の確保・育成 <p>○平成 30 年 7 月豪雨の影響による生産量の減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下方道の被災により事業地に入れないため、代替地の確保を検討中
<p>■No. 13 シイラ等の加工商材活用（香南市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高知県漁協手結支所 	<p>[目標]</p> <p>○シイラ加工事業の販売額</p> <p style="padding-left: 20px;">H26 実績 16,011 千円</p> <p style="padding-left: 20px;">→H29 目標：22,000 千円（実績：44,263 千円）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30 目標：30,000 千円</p> <p style="padding-left: 20px;">→H31 目標：20,000 千円</p> <p>○新たな魚種の取扱い尾数（新規）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H29 目標：300 尾（実績 0 尾）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30 目標：300 尾</p> <p style="padding-left: 20px;">→H31 目標：3,000 尾</p> <p>[取組状況]</p> <p>○シイラ加工事業の販売額（6 月末）：8,182 千円 （前年同期比 97.1%）</p> <p>○新たな魚種の取扱い尾数（4～9 月末見込）：0 尾</p> <p>○原魚加工量（6 月末）：12.6 t（前年同期比 57.3%）</p> <p>○取引先との定期的な情報交換（週 1～2 回）</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○衛生管理の向上と生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「高知県食品衛生高度管理手法」に基づく自主管理マニュアルの徹底と効率的な加工体制の構築
<p>■No. 15 ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地活性化プロジェクト（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南国市商工会 ・ 南国市 ・ 南国市中心市街地活性化推進協議会 ・ (株) 海洋堂 ・ (株) 奇想天外 	<p>[目標]</p> <p>○空き店舗活用数（累計）</p> <p style="padding-left: 20px;">H26実績：1件</p> <p style="padding-left: 20px;">→H29目標：4件（実績：2件）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30目標：5件</p> <p style="padding-left: 20px;">→H31目標：7件</p> <p>[取組状況]</p> <p>○空き店舗活用数（4～9 月見込）：0 件</p> <p>○「ものづくりサポートセンター（仮称）」の整備に向けた関係者間(海洋堂、市、県)の定例会議実施(4/23、5/23、6/22、7/24、8/24)</p> <p>○ソフト戦略に係る(株)海洋堂と県関係課との協議（5/15、6/19、7/24、9/3）</p> <p>○中心市街地活性化推進協議会総会(7/3)</p> <p>○クラフト市(仮)の実施に向けた打ち合わせ(7/12、7/17、7/25、8/21)</p>

	<p>○地域おこし協力隊の新規採用（4/1～、1名）及び追加募集（6月～、1名募集中）</p> <p>○ものづくりサポートセンター基本設計受託契約（4月）</p> <p>【課題と今後の対応】</p> <p>○「ものづくりサポートセンター（仮称）」の整備に向けた進捗状況の確認、検証、役割分担の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋堂、商工会、市、県等による定例的な関係者協議 <p>○「ものづくりサポートセンター（仮称）」を核とした人づくりや賑わいづくりなどソフト面の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街等の連携による仕組みの構築に向け、南国市中心市街地活性化推進協議会等での戦略づくり
<p>■No. 16 ヤ・シィパークを核とした地域の活性化推進プロジェクト（香南市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（株）ヤ・シィ ・香南市 	<p>【目標】</p> <p>○加工所兼店舗の売上高</p> <p style="padding-left: 20px;">H27 実績：0円</p> <p style="padding-left: 20px;">→H29 目標：51,022千円（H29 実績：16,356千円）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30 目標：52,578千円</p> <p style="padding-left: 20px;">→H31 目標：54,193千円</p> <p>【取組状況】</p> <p>○加工所兼店舗の売上高（H30.4～6月）：6,847千円 (前年同月比 166.4%)</p> <p>(加工場兼店舗 (mana*mana) 体制の強化)</p> <p>○（株）ものべみらいからの役員派遣による戦略の立て直し（5/2～）</p> <p>(販売促進・PR)</p> <p>○商談会等への参加（1回、高知県産品商談会（5/29））</p> <p>○イベントへの出店・出品（7回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕末維新博開幕イベント（4/21） ・第2戦 MAX ライダー2018（4/22） ・第61回土佐赤岡どろめ祭り（4/29） ・第14回若武者杯争奪少年剣道錬成大会（7/1） ・マリンフェスティバル YASU2018（7/15） ・AKOMEYA TOKYO 京都 BAL 店での販促（7/7～） ・第72回全国レクリエーション大会 in 高知（9/21 予定） <p>○自主イベント等の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランチメニューのリニューアル・拡充（4/5～7/10） ・山田高校との協働企画 GW イベント（5/3～5） ・リニューアルオープン（7/12～） ・手結盆踊り大会花火観覧特別営業（8/15） <p>○新規成約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「都会の農園」（東京）での小売開始（4月～） ・お中元カタログ販売（高島屋・高知食糧㈱）（6月～）

	<p>○広報、P R</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元広報誌への掲載（高知新聞（5/4、6/12）、こじゃんと6月号、ランチパスポート Vol. 25、ほっとこうち7月号） ・TVでの放送（高知 eye+（5/7）、おはようこうち（5/13）、ヒルナンデス（7/4）、イブニング KOCHI（7/11）） ・県庁生協売店でのアイスバーの販売（6/11～） （ヤ・シィパーク全体） <p>○ヤ・シィパーク活性化推進協議会の開催（毎月開催：4/24、6/21、7/26、8/29）</p> <p>○役員等体制の見直し（5/1）</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>（加工場兼店舗（mana*mana））</p> <p>○アイスバー&カフェの売上アップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繁忙期の注文に対する生産の強化 ・店舗リニューアルオープン後の周知・運営 <p>○ヤ・シィパークの拠点化に向けた強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤ・シィパーク活性化推進協議会による事業計画作成
<p>■No. 18 香美市における特産品づくりの推進 （香美市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）香美市観光協会 ・（協）葦生の里 ・奥ものべじじばばあんぜん会 ・コハマ農産物直販所 ・香美市 	<p>[目標]</p> <p>（開発商品売上高）</p> <p>H26 実績：8,717 千円、14 商品 →H29 目標：8,800 千円、15 商品 （実績：16,312 千円、15 商品） →H30 目標：10,000 千円、16 商品 →H31 目標：10,000 千円、17 商品</p> <p>[取組状況]</p> <p>○開発商品売上高（9月末見込）：5,127 千円（前年比 83%）</p> <p>○特産品販売出店（9月末見込）：7 回 （コハマ農産物直販所）</p> <p>○食品表示研修受講（6/13）</p> <p>○一般衛生管理研修受講（6/6）</p> <p>○HACCP 研修受講（7/10, 11）</p> <p>○自主検査勉強会受講（6/28）</p> <p>○HACCP アドバイザー書類作成指導（7/31）</p> <p>○産業振興アドバイザー事業活用による新商品開発指導（7/25）</p> <p>○香美市特産品振興事業活用による商品パンフレット及びパッケージ作成中 （（協）葦生の里にろうまいこ）</p> <p>○集落の活力づくり補助金活用による新商品開発検討中</p>

	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品のラインナップの充実と商品力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・各種の支援制度の活用による新商品づくり、既存商品のブラッシュアップ ○食品表示及び HACCP 制度への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修の受講による新制度への対応を促す
<p>■No. 19 地場産業（土佐打刃物、フラフ）の振興</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県土佐打刃物連合協同組合 ・香美市商工会 ・フラフ製造業者 ・香美市観光協会 ・香美市 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地場産業（土佐打刃物、フラフ）後継者数（H28～31 累計） <ul style="list-style-type: none"> H29 目標：1 人（実績：0 人） →H30 目標：1 人 →H31 目標：3 人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地場産業（土佐打刃物、フラフ）後継者数（9 月末）：0 人 ○香美市ものづくり会議の開催（5/29） <ul style="list-style-type: none"> ・「鍛冶屋の学校（仮称）」創設に向けた方針等の協議（土佐打刃物） ○「鍛冶屋の学校（仮称）」検討委員会の開催（4/16、5/29、6/18、7/31） <ul style="list-style-type: none"> ・「鍛冶屋の学校（仮称）」の建設場所を刃物流通センターとして進めていくことを確認（4/16） ・講師就任承諾状況の確認、カリキュラム及び研修方法の検討、導入研修機械の検討（5/29） ・開発審査会に向けての取組手順確認 ・伝統的工芸品産業に関する法律に基づく土佐打刃物の第 2 次振興計画（案）に関する質疑 ・施設及び鍛造用機械について協議（6/13） ○産業振興推進総合支援事業費補助金（ステップアップ）の活用（7/27 交付決定） <ul style="list-style-type: none"> ・「鍛冶屋の学校（仮称）」実習棟建設にかかる基本設計、測量及び基本構想の策定（フラフ） ○セレネ広場及び香美市役所へのフラフ掲揚（4 月、5 月） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「鍛冶屋の学校（仮称）」開校に向け、建設スケジュールの確定と学校の運営方針の決定 <ul style="list-style-type: none"> ・高知県土佐刃物連合協同組合を中心とした具体的な計画づくり ○フラフの振興策の具体化 <ul style="list-style-type: none"> ・香美市ものづくり会議における具体的な施策づくり

<p>■No. 20 土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化（香美市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市商工会 ・えびす街協同組合 ・地域活動団体 ・香美市 	<p>【目標】</p> <p>○空き店舗を活用した新規開業（H28～31 累計）</p> <p> H27 実績：3 件</p> <p> →H29 目標：4 件（実績：4 件）</p> <p> →H30 目標：5 件</p> <p> →H31 目標：16 件</p> <p>【取組状況】</p> <p>○ふらっと中町へ地域支援員（1 人）の継続配置</p> <p>○チャレンジショップ運営員（1 人）の継続配置</p> <p>○チャレンジショップ運営委員会開催（4 回）</p> <p>○えびす商店街活性化検討委員会開催（3 回）</p> <p>○ふらっと中町での集客イベントの開催（お花見会、FUSE セミナー、えびすでフリーマーケット、えびす歌声広場、ふらっと夏まつり～浴衣でビアパーティー～）</p> <p>○新たなチャレンジャーによる出店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「do11 CAT」（手作りアクセサリー、雑貨販売：7/3～） ・「洋菓子店 kozue nishimori」（焼き菓子等販売：7/14～） <p>【課題と今後の対応】</p> <p>○チャレンジショップ（チャレンジャー）の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジャーの売上げ増加に向けた広報の充実等の取組の実施
<p>■No. 21 広域観光の取組の推進（物部川地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知中央広域観光協議会のうち、南国市、香南市、香美市、（一社）南国市観光協会、（一社）香南市観光協会、（一社）香美市観光協会 ・物部川DMO協議会 ・（株）ものべみらい 	<p>【目標】</p> <p>○観光客入込数</p> <p> H26 実績：134.1 万人</p> <p> →H29 目標：153.7 万人（実績：141.5 万人）</p> <p> →H30 目標：154.5 万人</p> <p> →H31 目標：144.5 万人</p> <p>【取組状況】</p> <p>○観光客入込数（1～6 月）：73.2 万人（前年同期比 107%）</p> <p>○高知中央広域観光協議会総会の開催（4/25）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29 事業報告、決算報告及び監査報告等 <p>○物部川DMO協議会推進会議の開催（4/18、5/25）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30 事業計画等 <p>○物部川DMO協議会通常総会の開催（6/20）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規約改訂、役員選任等 <p>○高知県観光説明会参加（6/27 広島・岡山）</p> <p>○土佐の観光創生塾参加（6/14～）</p> <p>○デジタルスタンプラリーの実施（5/3～6、6/2～7/1）</p> <p>○大学との連携による周遊ツアー造成支援（8/25～26 催行）</p> <p>○広域観光パンフレットの作成（9/28 納品予定、2 万部）</p>

	<p>○広域でのイベントの実施（9/30 予定）</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○地域の観光資源の一層の発掘・磨き上げによるさらなる誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周遊コース等旅行商品の造成 ・ターゲットに応じた情報発信、ランドオペレーター機能の構築 ・エージェントセールス <p>○物部川DMO協議会の広域観光組織としての体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング調査の実施 ・観光人材の育成
<p>■No. 22 南国市の地域資源を活用した参加型観光の推進（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）南国市観光協会 ・南国市観光クラスター連絡協議会 ・市内各観光に関わる企業・団体・グループ 	<p>[目標]</p> <p>○主要4観光施設の観光客入込数（1～12月）</p> <p style="padding-left: 20px;">H26 実績：53.9 万人</p> <p style="padding-left: 20px;">→H29 目標：55.5 万人（実績：52.7 万人）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30 目標：55.5 万人</p> <p style="padding-left: 20px;">→H31 目標：55.5 万人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○主要 4 観光施設の観光客入込数（1～6 月）：29.2 万人 (前年同期比 115%)</p> <p>○各種イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡豊山さくらまつり・土佐の食 1 グランプリ (3/31・4/1) : 9,000 人 ・長宗我部フェス (5/19) : 1,100 人 ・土佐のまほろば祭り (8/4) ・物部川フェスタ (9/30 予定) <p>○移動販売車の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントにおける販売 (5/19、7/15、8/2、8/21、8/25) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○体験型メニューの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市クラスター連絡協議会での周遊コースの造成、旅行商品づくり <p>○移動販売車の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントや出張販売における特産品販売 ・周遊マップやグルメ情報誌の提供等、観光情報発信
<p>■No. 23 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信（香南市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）香南市観光協会 ・香南市 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>○観光客入込数（1 月～12 月）</p> <p style="padding-left: 20px;">H26 実績：51.8 万人</p> <p style="padding-left: 20px;">→H29 目標：70 万人（実績：62.8 万人）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30 目標：70 万人</p> <p style="padding-left: 20px;">→H31 目標：55 万人</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・香南市歌舞伎でまちおこし実行委員会 ・香南市観光クラスター協議会 ・地域の体験メニュー等提供団体 <p>※地域産業クラスター関連（日本一のニラ産地拡大プロジェクト）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光客入込数（1～6月）：33.3万人（前年同期比105.5%） ○新聞バッグづくり体験の実施（4/20：香川県藤井中108人） ○モニターツアーの開催（1回、参加者 延べ9人） ○歌舞伎をテーマにしたワークショップ等の開催（9回、参加者：延べ166人） ○香南市観光施設連絡会（観光クラスター協議会の位置づけ）の開催（2回） ○土佐の観光創生塾への参加（4回） ○塩の道トレイルランニング大会募集開始（6/11） ○着付け体験&赤岡町歩きの開催（9月） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組織体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な職員の確保及び専門知識やノウハウの習得 ・旅行業務取扱管理者の確保
<p>■No. 24 三宝山プロジェクト（香南市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市 ・民間事業者 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光客入込数 <ul style="list-style-type: none"> H27 実績：0人 →H29 目標：－（実績：－） →H30 目標：－ →H31 目標：20万人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○土地・建物所有者との無償貸借契約締結（H29～、5年間） ○運営事業者と関係者間（（株）ものべみらい、香南市、県）の協議、調整（4～7月） ○香南市三宝山周辺エリア広域観光ビジョン検討委員会の開催（7/23） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○周辺施設との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・山頂に限らない、三宝山一帯の持続可能な観光拠点化 ・山頂での一体的な事業展開が可能な事業者との交渉及びその他の事業者との調整 ・物部川地域の他の観光関係事業者との連携・協働に向けた仕組みづくり
<p>■No. 25 香美市における滞在型・体験型観光の推進（香美市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市 ・（一社）香美市観光協会 ・（株）香北ふるさとみらい 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主要4観光施設の入込数（アンパンマンミュージアム、ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート、龍河洞、べふ峡温泉） <ul style="list-style-type: none"> H26 実績：284,665人 →H29 目標：282,000人（実績：259,773人） →H30 目標：290,000人

<p>・地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体</p>	<p>→H31 目標：340,000 万人</p> <p>※H29 の目標・実績のみ主要 3 観光施設入込数（ピースフルセレネ改修工事のため）</p> <p>※H29. 10. 22 の台風被害により、べふ峡温泉は宿泊客の受け入れを中止</p> <p>[取組状況]</p> <p>○観光客入込数（1～6 月）：10. 7 万人（前年同期比 92. 8%）</p> <p>○日ノ御子河川公園キャンプ場の期間限定オープン（GW）</p> <p>○とさてらすでの観光PRの展開（5/3～4）</p> <p>○ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾートのオープン（7/12）</p> <p>・広報番組「さんしん GO！」で特集・放送（8/19）</p> <p>○各種イベントの開催</p> <p>・「ひかりの試練をクリアせよ。」（3/24～4/1） ：3, 381 人（前年同曜日比 109. 7%）</p> <p>・「龍の洞窟の歴史を変えろ。」（4/28～5/6） ：10, 035 人（前年同曜日比 91. 3%）</p> <p>・「Coloful Summer Adventure」（7/14～8/26）</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○組織体制の強化</p> <p>・体験観光メニューの受け入れ体制づくりと情報発信の充実</p> <p>○台風被害により宿泊の受入を停止しているべふ峡温泉の修復</p>
<p>■No. 26 龍河洞エリア活性化プロジェクト（香美市）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・龍河洞エリア活性化協議会</p> <p>・（公財）龍河洞保存会</p> <p>・（株）龍河洞みらい</p> <p>・（株）ものべみらい</p> <p>・香美市</p>	<p>[目標]</p> <p>○観光客入込数</p> <p>H29 新規（実績：103, 481 人）</p> <p>→H30 目標：11. 4 万人</p> <p>→H31 目標：12 万人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○観光客入込数（1～6 月）：41, 004 人（前年同期比 98%）</p> <p>○龍河洞エリア活性化協議会の開催（5/16）</p> <p>・今後の事業の方向性を確認</p> <p>○龍河洞エリア活性化協議会「部会」の開催（4/18、7/18）</p> <p>・商店街や情報発信拠点、珍鳥センター等のあり方について検討</p> <p>○観光案内用看板の設置及び既存看板位置の修正（4/27）</p> <p>○業務の見直しによる新シフトの稼働・効率化（4 月～）</p> <p>○レジシステム導入による業務の効率化、入洞者のデータ蓄積（5 月～）</p>

	<p>○高知県観光拠点等整備事業費補助金を活用した事業（洞内の安全性及び利便性の向上のための調査設計）の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洞内整備について文化財課との現地確認、協議（5/10、7/23） ・調査設計に係る委託事業者との協議、現地確認（6月～） <p>○集客イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひかりの試練をクリアせよ。」（3/24～4/1） ：3,381人（前年同曜日比109.7%） ・「龍の洞窟の歴史を変えろ。」（4/28～5/6） ：10,035人（前年同曜日比91.3%） ・「Coloful Summer Adventure」（7/14～8/26） <p>○観光モノレール導入に向けた先進地視察（徳島県東みよし市）（5/18）</p> <p>○珍鳥センターのあり方に関する有識者会議の開催（5/31）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・珍鳥センターの存続方針、夏期に向けての環境向上策について協議 <p>○香美市地域おこし協力隊（龍河洞エリア活性化支援業務）の着任（6/1）</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高知県観光拠点等整備事業費補助金の計画的な執行と進捗管理の徹底 ○龍河洞を円滑に運営するための体制づくりと仕組みづくり
--	---

2 平成30年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費（補助金額）
<p>■No.19 地場産業（土佐打刃物、フラフ）の振興（香美市）</p> <p>※ステップアップ事業</p> <p>7/27 交付決定</p>	<p>伝統的工芸品産業である土佐打刃物の後継者育成及び振興を目的とした「鍛冶屋の学校」（仮称）を創設するための基本構想の策定、測量・設計の実施</p>	<p>5,065（2,000）</p>

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[追加] ■地域と連携した高知県産ワインのブランド化の推進

（概要）ブドウの栽培からワインの醸造・販売までの一貫した体制の構築に向け、ブドウの栽培面積の拡大や醸造施設の建設、人材の育成等に取り組むとともに、高知県の食材とのコラボレーションやPR活動を行い、県内産ワインとしてのブランドを確立する。

■高知県産の食材を活用したクラフトビールの製造・販売

(概要) 高知県産の食材を活用したクラフトビールを製造し、生産規模の拡大及び安定的な稼働体制を確立するとともに、商工会、観光協会と連携した地元商店街のにぎわい創出を図る。

[修正] ■No.5 「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上 (南国市)

(理由) 平成30年1月末で「なのカフェ」が営業終了し、新たな経営者のもとで平成30年7月より「畑の食堂C o p a n」がオープンしたことに伴い、地域アクションプランの名称を変更するとともに、事業主体に「畑の食堂C o p a n」を追加する。

■No.14 地域の特産品づくり～農産物加工への取組～

(理由) なんこく空の駅推進協議会が平成30年5月に解散したことに伴い、事業主体から削除する。

4 県民参画に向けた取組

- ・香美・香南地区農業振興連絡協議会総会における第3期産業振興計画及び地域アクションプランの説明 (4/29)
- ・香美市山水会における第3期産業振興計画の説明 (5/16)
- ・香美市商工会総会における第3期産業振興計画の説明 (5/22)
- ・香南市商工会通常総会における第3期産業振興計画の説明 (5/24)
- ・香美市行政連絡会における第3期産業振興計画の説明 (5/26、5/29)
- ・香南市産業振興計画策定委員会における第3期産業振興計画の説明 (6/5)
- ・第1回地域連絡会議(商工会・商工会議所との連携会議)における地域アクションプランの進捗状況の説明 (6/13)
- ・香美市との補助金制度等の研修会における第3期産業振興計画及び産業振興・観光振興等に関する補助制度の説明 (7/26)
- ・中央東行政事務地域連絡会議における地域アクションプランの進捗状況等の説明 (8/3)

5 相談案件：5件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/19	特用林産物	香美市で、新たな菌床椎茸栽培施設への空調設備等を導入したい
2	4/20	食品加工	香南市で、ワイン醸造施設の整備や社員研修を行いたい
3	5/15	食品加工	香南市で、みかんジュースの販路拡大やラベルのリニューアル、搾汁機の導入等を行いたい
4	5/30	食品加工	香美市で、クラフトビールの販路拡大と製造機器等の整備を行いたい
5	7/2	食品加工	南国市で、ドライフルーツの加工設備の導入等を行いたい

有望素材シート（30年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	香南市、南国市	素材名	ワイン用ブドウ
		関連素材	ワイン用ブドウ栽培圃場、周辺観光施設(三宝山)

現状・課題	<p>【現状】</p> <p>株式会社井上石灰工業の新事業として、平成26年にワイン用ブドウの生産を開始。南国市稲生地区（3.5反）と香南市山北地区（3反）の圃場で、ワイン用ブドウ栽培に着手し、その後、新たに開墾した香南市手結地区（1反）の圃場も併せて、現在のところ約7.5反の圃場を確保している。</p> <p>一般的に高温多湿の高知県での「ブドウ栽培」は難しいとされてきたが、自社の主力商品である「ICボルドー（安心安全な農業）」や「土壌改良剤（消石灰）」を武器に、ワイン造りの専門家に指導を仰ぎながら、3年間に亘り、県内での栽培技術の習得に努めた結果、平成28年に念願の高知県ワイン（TOSA）を完成させた。</p> <p>これを機に、平成28年4月にワインの製造・販売を行うことを目的として、新会社（株式会社井上ワイナリー）を設立。「かつおのたたき」に合うワインをコンセプトに高知県の食材ともマッチしたPRを行い、個人会員制による個別販売を展開するほか、高知市内の有名レストランやホテルなどを中心に販売している。（現在個人会員数は約600名）</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自前のワイン醸造施設がない（現在は山梨県の醸造所に委託） ・ブドウの生産量の更なる増加 ・ワイン醸造技術を持った社員の育成 ・高知県産ワインの知名度の向上
今後の方向性	<p>ブドウの栽培からワインの醸造、出荷、販売までを一貫した総合的な体制と仕組みの確立に向け、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一定の生産量を確保するための更なる圃場の拡大 ・ワイン醸造施設の建設等による生産体制の構築 ・安定的に醸造を行えるよう、生産技術の習得に向けた人材の育成 ・高知県産ワインのブランド化の推進 <p>等に取り組む。</p> <p>こうした取り組みを通じて、耕作放棄地の活用や雇用の創出、更には観光振興にもつなげていく。</p>

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	地域と連携した高知県産ワインのブランド化の推進
	関係市町村名	香南市、南国市

※線表の記載内容と整合を図ってください。

事業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栽培面積の拡大 ブドウ栽培の圃場を2反増加し9.5反まで拡大するなど更なるワイン用ぶどうの生産規模を拡充する。 2. 醸造・生産体制の確立 香南市内にワイン醸造施設を建設し、一貫したワイン生産体制を確立しつつ、醸造施設の見学や圃場での収穫体験ができる仕組みを構築する。 3. ブランドの確立 県の食材や製品とのコラボレーション等により、県内産ワインとしてのブランドを確立する。 4. 人材育成 醸造技術習得のための研修等を実施し、ブドウ栽培から醸造に至るすべての工程管理を行う人材（スペシャリスト）を育成する。 																																				
事業主体等	<p>【事業主体】 井上ワイナリー株式会社、株式会社井上石灰工業</p> <p>【関係機関】 ・香南市、南国市</p>																																				
主要内容・スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th>取組手順</th> <th>事業実施【H30】</th> <th>1年後【H31】</th> <th>2年後【H32】</th> <th>3年後【H33】</th> <th>4年後【H34以降】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栽培面積の拡大 (井上石灰工業株式会社)</td> <td>・7.5反(H30.4月時点)</td> <td>2反増(山北)→計9.5反</td> <td colspan="3">必要に応じて耕作放棄地等を活用して開墾、圃場の確保</td> </tr> <tr> <td>醸造・生産体制の確立</td> <td>・県外施設の視察等(3回) (ステップアップ事業の活用) ・基本・実施設計 (~H31.3月末)</td> <td>施設の建設(4月~3月)</td> <td>・保健所許可 ・醸造準備(4月~7月) ○醸造開始(8月)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ブランドの確立</td> <td>・空港等での広告 ・PRイベントの実施 ・PR動画の制作 (ステップアップ事業の活用)</td> <td>・PRイベントの実施 ・県内食材とのコラボ商品の開発(トマト等)</td> <td colspan="3">PRイベントの実施</td> </tr> <tr> <td>人材育成</td> <td>・醸造技術取得を目的とした研修の実施(8月、10月) (ステップアップ事業、アドバイザーの活用)</td> <td colspan="4">生産技術の確立に向けたアドバイザーによる栽培、醸造指導</td> </tr> </tbody> </table>	取組手順	事業実施【H30】	1年後【H31】	2年後【H32】	3年後【H33】	4年後【H34以降】	栽培面積の拡大 (井上石灰工業株式会社)	・7.5反(H30.4月時点)	2反増(山北)→計9.5反	必要に応じて耕作放棄地等を活用して開墾、圃場の確保			醸造・生産体制の確立	・県外施設の視察等(3回) (ステップアップ事業の活用) ・基本・実施設計 (~H31.3月末)	施設の建設(4月~3月)	・保健所許可 ・醸造準備(4月~7月) ○醸造開始(8月)			ブランドの確立	・空港等での広告 ・PRイベントの実施 ・PR動画の制作 (ステップアップ事業の活用)	・PRイベントの実施 ・県内食材とのコラボ商品の開発(トマト等)	PRイベントの実施			人材育成	・醸造技術取得を目的とした研修の実施(8月、10月) (ステップアップ事業、アドバイザーの活用)	生産技術の確立に向けたアドバイザーによる栽培、醸造指導									
取組手順	事業実施【H30】	1年後【H31】	2年後【H32】	3年後【H33】	4年後【H34以降】																																
栽培面積の拡大 (井上石灰工業株式会社)	・7.5反(H30.4月時点)	2反増(山北)→計9.5反	必要に応じて耕作放棄地等を活用して開墾、圃場の確保																																		
醸造・生産体制の確立	・県外施設の視察等(3回) (ステップアップ事業の活用) ・基本・実施設計 (~H31.3月末)	施設の建設(4月~3月)	・保健所許可 ・醸造準備(4月~7月) ○醸造開始(8月)																																		
ブランドの確立	・空港等での広告 ・PRイベントの実施 ・PR動画の制作 (ステップアップ事業の活用)	・PRイベントの実施 ・県内食材とのコラボ商品の開発(トマト等)	PRイベントの実施																																		
人材育成	・醸造技術取得を目的とした研修の実施(8月、10月) (ステップアップ事業、アドバイザーの活用)	生産技術の確立に向けたアドバイザーによる栽培、醸造指導																																			
指標・目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>事業実施【H30】</th> <th>1年後【H31】</th> <th>2年後【H32】</th> <th>3年後【H33】</th> <th>4年後【H34】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上げ</td> <td>4,318千円</td> <td>9,869千円</td> <td>16,160千円</td> <td>23,361千円</td> <td>26,430千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【設定根拠】 【推計の考え方】 ○葡萄栽培年数と圃場拡大を考慮した栽培量から推計 ワイン生産本数 (H30:3200本、H31:5240本、H32:7575本、H33:8570本、H34:10550本) ○売上げ内訳 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(H30年度)</th> <th>(平成31年度)</th> <th>(平成32年度)</th> <th>(平成33年度)</th> <th>(平成34年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人会員販売</td> <td>3,622</td> <td>8,279</td> <td>13,557</td> <td>19,598</td> <td>22,172</td> </tr> <tr> <td>飲食店・ホテル等販売</td> <td>696</td> <td>1,590</td> <td>2,603</td> <td>3,763</td> <td>4,258</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,318</td> <td>9,869</td> <td>16,160</td> <td>23,361</td> <td>26,430</td> </tr> </tbody> </table>	項目	事業実施【H30】	1年後【H31】	2年後【H32】	3年後【H33】	4年後【H34】	売上げ	4,318千円	9,869千円	16,160千円	23,361千円	26,430千円		(H30年度)	(平成31年度)	(平成32年度)	(平成33年度)	(平成34年度)	個人会員販売	3,622	8,279	13,557	19,598	22,172	飲食店・ホテル等販売	696	1,590	2,603	3,763	4,258	計	4,318	9,869	16,160	23,361	26,430
項目	事業実施【H30】	1年後【H31】	2年後【H32】	3年後【H33】	4年後【H34】																																
売上げ	4,318千円	9,869千円	16,160千円	23,361千円	26,430千円																																
	(H30年度)	(平成31年度)	(平成32年度)	(平成33年度)	(平成34年度)																																
個人会員販売	3,622	8,279	13,557	19,598	22,172																																
飲食店・ホテル等販売	696	1,590	2,603	3,763	4,258																																
計	4,318	9,869	16,160	23,361	26,430																																

総事業費等	<p>総事業費 150,000千円 (うち30年度 未定)</p> <p>(内訳 国: 県:未定 市町村:未定 その他:)</p> <p>想定する支援事業(補助金名称、人的支援の内容、その他)</p> <p>国: 県:高知県産業振興推進総合支援事業(ステップアップ) 人的支援:産振アドバイザー その他:</p>
-------	---

備考

有望素材シート（30年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	香美市	素材名	香美市の特産品を活用したクラフトビールの製造・販売
		関連素材	ユズ等の地元食材、地元商店街（土佐山田えびす商店街）、周辺観光施設の飲食店

現状・課題	<p>【現状】 高知県での起業を目指し、H27年度に県が主催する「活き・生き・スキルUP」起業塾に参加。翌年の高知家ビジネスプランコンテスト「優秀賞」の受賞を契機に、H29年に県の補助事業等を活用しながら、香美市土佐山田町でクラフトビールの醸造所の開業に向けた準備を進めてきた。酒造免許の取得を経て本年1月に合同会社 高知カンパーニュブルワリーを設立し、4月から本格的なクラフトビール（TOSACO）の製造を着手した。香美市の特産品であるユズをはじめ、米や山椒、文旦を活用した商品を開発し、東京銀座のアンテナショップ「まるごと高知」をはじめ、地元スーパーや酒屋等で販売している。（【出荷量】5月：瓶3,394本、樽170L 6月：瓶3,743本、樽60L） 現在、小規模な施設で生産を行っているが、生産量が限られており、主要な卸先である地元スーパーでも品薄状態が続いていることから、段階的な増産に向けた体制づくりが急務となっている。今後は、こうした生産体制の強化に加え、商品開発に係るマーケティング、販路拡大に向けたフェア等へ出店するなど積極的な外販活動を推進する。</p> <p>【課題】 1 効率的・安定的な増産体制の確立 小規模な醸造施設で生産しているため、生産能力に限界がある。 2 増産に向けた人的な体制づくり 基本的には、経営者のみでビールの製造・販売・PR活動等を行っており、新たな人材確保が急務となっている。 3 製品の質（味や香り）の確保と衛生管理の徹底 ビールの品質等の確認は、試飲等で行っていることから、今後システム化・データ化による管理が必要となる。 また、県版HACCPの認証取得が不可欠となる。 4 商品力の向上およびブランドの確立 全国的にクラフトビールを製造する事業者が増加しており、特色ある独自ブランドを確立し、県内外に訴求していかなければならない。</p>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 生産規模の段階的な拡大と安定的な稼働体制の確立による生産体制の構築 生産規模の拡大に向け、設備投資計画を策定するとともに、作業工程を見直し、効率的な生産体制を確立する。 地域食材を活用した積極的な地産外販の推進 本県ならではの食材をクラフトビールの副原料にした商品を製造し、積極的な外販活動を展開する。 地元商店街「土佐山田えびす商店街」のにぎわい創出 香美市、商工会、商店街、観光協会と連携。「香美バル」や地域イベント等の集客に繋げていく。

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	高知県産の食材を活用したクラフトビールの製造・販売
	関係市町村名	香美市

事業の概要	<p>【事業目標】 香美市の特産品であるユズをはじめ、高知県産の米、文旦等を活用したクラフトビールを生産体制を確立し、積極的な地産外販を目指す。</p> <p>【事業内容】 ・生産規模の拡大と安定的な稼働体制の確立による「生産体制の構築」 ・地域食材を活用した「積極的な地産外販の推進」 ・商工会、観光協会等と連携した「地元商店街のにぎわい創出」</p> <p>【事業効果】 ・本県の特産品を効果的に外販、PRすることができる ・特産品をクラフトビールの副原料にすることで、地元農家に還元できる ・地元で新たな雇用を生み出すことができる ・地域イベント（「香美バル」等）や商店街の取り組みと連携することで、集客を促進し、地域の活性化に繋げることができる</p>
-------	---

事業主体等	<p>【事業主体】 合同会社 高知カンパーニュブルワリー</p> <p>【関係機関】 香美市 香美市商工会 土佐山田えびす商店街 株式会社土佐山田ショッピングセンター 香美市観光協会</p>
-------	---

取組手順	事業実施【H30】	1年後【H31】	2年後【H32】	3年後【H33】	4年後【H34以降】
生産体制の構築	生産工程の見直し(高知県産振アドバイザー活用(2回)) 施設の充実、販促活動(ステップアップ事業活用)	生産規模の段階的な拡大(整備投資、ラインの拡大) 県版HACCPの認証取得		新たな工場の確保又は建設	工場の完成・増産体制の確立
積極的な地産外販の推進		「まるごと高知」等でのテストマーケティングの実施	ブランディング及び戦略的なPR、フェア等への出店、新商品の開発		
地元商店街のにぎわい創出		地元イベント(「香美バル」等)への出店、商店街との連携			地元食材(ジビエ等)を活用したご当地グルメの開発

項目	事業実施【H30】	事業実施【H31】	1年後【H32】	2年後【H33】	3年後【H34以降】
売上	12,285千円	18,048千円	23,034千円	31,763千円	35,906千円
【設定根拠】	【推計の考え方】 ○売上の内訳【単位：千円】				
	(H30年度)	(平成31年度)	(平成32年度)	(平成33年度)	(平成34年度)
	直販(330mL)	2,591	2,591	2,591	6,215
	ピン(330mL)	5,704	9,976	13,169	16,461
	樽(19L)	3,990	5,481	7,274	9,087
	計	12,285	18,048	23,034	31,763

総事業費	千円	(うち30年度)	千円
(内訳 国 :	県 :	市町村 :	その他 :
想定する支援事業(補助金名称、人的支援の内容、その他)			
国 :	県 : 高知県産業振興推進総合支援事業(ステップアップ分) 4,000千円		
人的支援 :	産振アドバイザー		
その他 :			

備考

追加項目(案)

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>地域と連携した高知県産ワインのブランド化の推進</p> <p><香南市、南国市></p>	<p>ブドウ栽培からワインの醸造・販売までの一貫した体制の構築に向け、ブドウの栽培面積の拡大や醸造施設の建設、人材の育成等に取り組みとともに、高知県の食材とのコラボレーションやPR活動を行い、県内産ワインとしてのブランドを確立する。</p>	<p>井上ワイナリー株式会社 井上石灰工業株式会社</p>	<p>アクションプランの取組開始 H30</p>		<p>◆栽培面積の拡大 (井上石灰工業株式会社)</p> <p>◆醸造・生産体制の確立</p> <p>◆ブランドの確立</p> <p>◆人材育成</p>
<p>高知県産の食材を活用したクラフトビールの製造・販売</p> <p><香美市></p>	<p>高知県産の食材を活用したクラフトビールを開発し、生産規模の拡大及び安定的な稼働体制を確立するとともに、商工会や観光協会等と連携し、地元商店街のにぎわい創出を図る。</p>	<p>合同会社 高知カンパニー ブルワリー</p>	<p>アクションプランの取組開始 H30</p>		<p>◆生産体制の構築</p> <p>◆積極的な地産外商の推進</p> <p>◆地元商店街のにぎわい創出</p>

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
			栽培面積の拡大 2反増(山北)→計9.5反	必要に応じて耕作放棄地等	ワインの売上高	9,869千円
		醸造・生産体制の確立 県外施設の視察等(3回) 基本・実施設計	施設の建設	保健所許可 醸造準備 醸造開始		
		ブランドの確立 空港での広告 PRイベントの実施 PR動画の制作	PRイベントの実施 県内食材とのコラボ商品の開発(トマト等)	PRイベントの実施		
		人材育成 醸造技術取得を目的とした研修の実施	アドバイザーによる栽培、醸造指導			
		生産体制の構築 生産工程の見直し 施設の充実、販促活動	生産規模の段階的な拡大(設備投資、ラインの拡大) 新たな工場の確保又は建設 県版HACCPの認証取得	工場の完成・増産体制の確立	クラフトビールの売上高	18,048千円
		積極的な地産外産の推進 アンテナショップ「まるごと高知」等でのテストマーケティングの実施	ブランディング及び戦略的なPRフェア等への出店、新商品の開			
		地元商店街のにぎわい創出 地元イベント(「番美バル」等)への出店、商店街との連携	地元食材(ジビエ等)を活用したご当地グルメの開発			

修正項目(案)


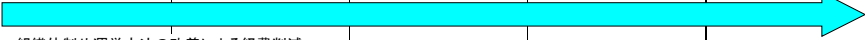
【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
5 「なの市」「なのカフェ」の 売上拡大による農家所得の向上 《南国市》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	旧直販所「あけぼの市」を国道195号通称「あけぼの街道」沿いに移転拡充した「なの市」「なのカフェ」で、地域農産物の販売や地域資源を活用した加工品の開発・販売及び飲食物の提供を行い、地域農業者の所得向上を図る。	・JA長岡 ・(株)なの工房	アクションプランの取組開始:H24 ・国道195号線沿いへの直販所・飲食店の移転・拡充・オープン(H25～26) ・売上目標達成に向けた商品構成の見直しやイベントを企画開催 ◆移転拡充により、雇用者数・売上ともに伸びており、農家所得の向上に繋がっている。 ・カフェ部門で、新メニューの提供開始(H27) ・地元果物を使った新商品の販売開始(H28) ・経営改善に向けた産振アドバイザーの導入(H29)	・新商品、新メニューの開発 ・経費削減 ・カフェ部門の経営改善	◆利益率が高く、客層にあった新商品、新メニューの開発 ◆組織体制や運営方法の改善による経費削減

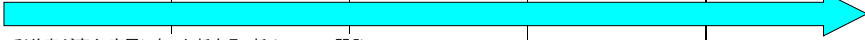
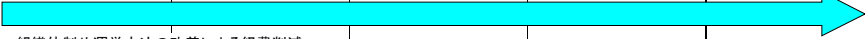


【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
5 「なの市」等の売上拡大 による農家所得の向上 《南国市》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	旧直販所「あけぼの市」を国道195号通称「あけぼの街道」沿いに移転拡充した「なの市」「なのカフェ」で、地域農産物の販売や地域資源を活用した加工品の開発・販売及び飲食物の提供を行い、地域農業者の所得向上を図る。	・JA長岡 ・(株)なの工房 ・はたけの食堂 ・Copan	アクションプランの取組開始:H24 ・国道195号線沿いへの直販所・飲食店の移転・拡充・オープン(H25～26) ・売上目標達成に向けた商品構成の見直しやイベントを企画開催 ◆移転拡充により、雇用者数・売上ともに伸びており、農家所得の向上に繋がっている。 ・カフェ部門で、新メニューの提供開始(H27) ・地元果物を使った新商品の販売開始(H28) ・経営改善に向けた産振アドバイザーの導入(H29)	・新商品、新メニューの開発 ・経費削減 ・カフェ部門の経営改善	◆利益率が高く、客層にあった新商品、新メニューの開発 ◆組織体制や運営方法の改善による経費削減

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
 <p>利益率が高く、客層にあった新商品、新メニューの開発</p> <p>・地域特産物を使ったパン、惣菜等の利益率の高いオリジナル商品の開発を行う ・客層に合わせた商品やメニューの開発を行う</p>					直販所等の売上高 (H22:33,000千円) (H26:171,000千円)	171,000千円	
 <p>組織体制や運営方法の改善による経費削減</p> <p>・会計システムの導入や勤務シフトの見直しによる人件費削減 ・原価率の見直しや財務分析による経費削減</p>							直販所等の雇用者数 (H22:3人) (H26:32人)



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
 <p>利益率が高く、客層にあった新商品、新メニューの開発</p> <p>・地域特産物を使ったパン、惣菜等の利益率の高いオリジナル商品の開発を行う ・客層に合わせた商品やメニューの開発を行う</p>					直販所等の売上高 (H22:33,000千円) (H26:171,000千円)	171,000千円	
 <p>組織体制や運営方法の改善による経費削減</p> <p>・会計システムの導入や勤務シフトの見直しによる人件費削減 ・原価率の見直しや財務分析による経費削減</p>							直販所等の雇用者数 (H22:3人) (H26:32人)

修正項目(案)

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
14 地域の特産品づくり ～農産物加工への取組～ 《南国市》	農産物等の6次産業化の推進に向けて、地域資源を活用して特産品開発に取り組む組織・グループを育成するとともに、顧客ニーズに沿った特産品づくりを促進する。また、商品化された加工品の売り込みを通じて、地域の魅力を発信する。	・なんこく空の駅推進協議会・西島園芸団地など既存企業・組織・グループ ・新しい組織・グループ ・JA南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル ・南国市商工会 ・(一社)南国市観光協会	アクションプランの取組開始:H21 ・地域産品を活用した特産品づくり(H21～) ・農業生産法人実証組織(地域雇用創造実現事業)をもとに、JA南国市が出資する農業生産法人が設立された(H24) ・特産品づくりのための市単独補助金の創設(H24～) ・南国市雇用創出推進協議会による試作品開発や公開セミナー等の実施(H25～27) ・南国FOOD PLUSによる6次産業化の推進及び特産品開発事業費補助金(市単)の活用(H28) ◆特産品づくりに取り組む組織・グループが新たに設立され、商品開発やパッケージ改良等がすすみ、開発商品売上高は増加している。	・特産品づくりに取り組むプレイヤーの育成 ・顧客ニーズに沿った商品づくり、既存商品のさらなる磨き上げ ・開発商品の販路拡大及び外高促進	◆特産品づくりの振興 ◆直販所等の活用により、販路拡大につながる取組(地産地消から外高へ)

修正前



【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
14 地域の特産品づくり ～農産物加工への取組～ 《南国市》	農産物等の6次産業化の推進に向けて、地域資源を活用して特産品開発に取り組む組織・グループを育成するとともに、顧客ニーズに沿った特産品づくりを促進する。また、商品化された加工品の売り込みを通じて、地域の魅力を発信する。	・西島園芸団地など既存企業・組織・グループ ・新しい組織・グループ ・JA南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル ・南国市商工会 ・(一社)南国市観光協会	アクションプランの取組開始:H21 ・地域産品を活用した特産品づくり(H21～) ・農業生産法人実証組織(地域雇用創造実現事業)をもとに、JA南国市が出資する農業生産法人が設立された(H24) ・特産品づくりのための市単独補助金の創設(H24～) ・南国市雇用創出推進協議会による試作品開発や公開セミナー等の実施(H25～27) ・南国FOOD PLUSによる6次産業化の推進及び特産品開発事業費補助金(市単)の活用(H28) ◆特産品づくりに取り組む組織・グループが新たに設立され、商品開発やパッケージ改良等がすすみ、開発商品売上高は増加している。	・特産品づくりに取り組むプレイヤーの育成 ・顧客ニーズに沿った商品づくり、既存商品のさらなる磨き上げ ・開発商品の販路拡大及び外高促進	◆特産品づくりの振興 ◆直販所等の活用により、販路拡大につながる取組(地産地消から外高へ)

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<p>特産品づくりの振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品づくりに取り組むプレーヤー(企業・組織・グループ)の育成 ・特産品づくりのための市単独補助金の活用促進 ・市、商工会、観光協会のコーディネーターから農商工連携を提案することによる特産品づくりの推進 ・テストマーケティング等による既存商品のブラッシュアップ 					<p>地域資源を活用した新たな特産品数 (H26:0品目)</p>	<p>10品目(H28~31 累計)</p>	
<p>直販所等の活用により、販路拡大につなげる取組(地産地消から外商へ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販所や道の駅等の既存施設を活用し、開発した特産品・加工品の販路拡大を図る。 ・地産地消でブラッシュアップされたものを外商に結びつけていく。 							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<p>特産品づくりの振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品づくりに取り組むプレーヤー(企業・組織・グループ)の育成 ・特産品づくりのための市単独補助金の活用促進 ・市、商工会、観光協会のコーディネーターから農商工連携を提案することによる特産品づくりの推進 ・テストマーケティング等による既存商品のブラッシュアップ 					<p>地域資源を活用した新たな特産品数 (H26:0品目)</p>	<p>10品目(H28~31 累計)</p>	
<p>直販所等の活用により、販路拡大につなげる取組(地産地消から外商へ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販所や道の駅等の既存施設を活用し、開発した特産品・加工品の販路拡大を図る。 ・地産地消でブラッシュアップされたものを外商に結びつけていく。 							